

# 青い波北陽台

令和2年1月31日 発行

長崎県立長崎北陽台高等学校

西彼杵郡長与町高田郷3672

TEL 095-883-6844

FAX 095-883-0776

発行責任者 西田 哲也



## 冬に想う

校長 西田哲也

明けましておめでとうございます。

今年は穏やかな年明けとなり、県内各地で初日の出を拝めた人も多かったのではないかと拝察します。また、新年を迎えるにあたり、新たな目標を設定し、その達成に向け努力を続けている人もいることと思います。令和2年という年が、皆様にとって有意義な年になることを心より願っています。写真は、雲仙市橋神社の大門松。今年も日本一を競うほどの高さで建てられました。

日本一と言えば、昨年本校登山部男子はインターハイで見事優勝し、輝かしい栄冠を手にすることができます。「日本一」と口に出したり書いたりするのは簡単ですが、実際に手に入れるためには、私などにはどうい想像できないような苦労や努力があったことだろうと考えると、改めてその偉業を称賛したい。

一方、11月末から年末にかけては、ラグビー部が素晴らしい輝きを放ち、本校はもちろんのこと、県全体に勇気と元気を与えてくれました。ベスト4という目標こそ達成できませんでしたが、優勝した桐蔭学園と正々堂々と戦いトライを挙げた彼らの雄姿は、北陽台ラグビー部の精神をしっかりと体現できたものと思います。また、ラグビー部の花園大会出場に際しましては、保護者の皆様をはじめ、旧職員、ラグビー部OB、同窓会、企業、地域の方々など、多方面からたくさんのご支援、ご協賛をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。改めて北陽台高校の存在意義を考えさせられるとともに、今度は私たちが恩返しをしなければと強く思ったところです。

世間は新年の幕開けや成人式などでお祝いムード満載ですが、学校、特に進学校では少し様相が異なります。3年生は、センター試験を含め自身の進路決定に正面から対峙する時であり1・2年生は各学年の仕上げと次年度への準備が待ったなしの状況です。特に3年生に関しては、この北陽台高校での3年間、学び、身につけ、修めたことを開花・結実させる時です。恐れることなく、怯むことなく、そして驕ることなく、39回生全員が持てる力をすべて出し切ってもらいたい。孫子・謀攻編には次のような言葉があります。

彼を知り、己を知れば、百戦殆からず。<sup>あやう</sup>

彼を知らずして、己を知れば、一たび勝ちて、一たび負く。

彼を知らず、己を知らざれば戦うごとに必ず負る。

いかなる時も、自己を冷静に分析し正しく理解することは、人生の要諦なのかもしれない。

生徒はもちろんのこと、教職員を含めた学校全体が、3学期という総仕上げの時を迎え、有終の美を飾るべく、すべての事に真摯に向き合う冬でありたい。

## ラグビー部全国大会結果報告

第99回全国高校ラグビー大会に本校ラグビー部が2年連続で出場しました。2回戦で桐蔭学園（神奈川代表）に敗れましたものの、最後まで気持ちのこもった熱い戦いを見せてくれました。現地には180名を超す生徒・職員が応援に駆け付け、学校からもパブリックビューイングで大きな声援を送りました。

全国大会出場に際しまして多くの方からご声援とご支援をいただき、誠にありがとうございました。

今年も北陽台高校ラグビー部の応援をよろしくお願いします。



### ラグビー部主将 岡崎君より

「全国大会ではたくさんの応援ありがとうございました。ベスト4という目標は達成できませんでしたが、応援を力に変え、優勝校相手にもひたむきに戦い北陽台のラグビーを全国の舞台で表現できたと思っています。多くの応援とご支援をしてくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。」

以下、2試合のハイライトを紹介します。

#### ◇ 1回戦 北陽台 53-0 桐生第一（群馬代表）

前半7分、ゴール前中央ラックからロック亀井（3年）が持ち出して先制トライ。その後も、フッカ一槻原（1年）のトライやWTB山田（2年）の連続トライなどで突き放し、計9トライを挙げ快勝。守っても相手を0に抑え、初戦を見事完封勝利した。



#### ◇ 2回戦 北陽台 7-38 桐蔭学園(神奈川代表)

Aシード・桐蔭学園（神奈川県）と対戦した2回戦。何度も相手ゴール前まで迫ったが、相手の強力なディフェンスの前になかなかトライを決められず。試合終了間際にS0本山（3年）CTB岡崎（3年）FB山口（3年）と繋ぎ左隅にトライ。最後に一矢報いたが惜しくも2回戦で敗退となつた。



# 39回生いざ出陣！ 最後のセンター試験

1月18、19日の両日、本年度の大学入試センター試験が実施され、39回生274名が長崎大学文教キャンパスで受験に臨みました。普段の実力を十分に発揮してくれたことと思います。この後は、特編授業、二次試験と続いていきます。39回生が志望校合格の花を咲かせられるよう全校で応援しています。

## 凧あげ大会に燃えた2年生

1月16日に開校以来の伝統行事である凧（ハタ）あげ大会が第2学年によって行われました。

凧は、縦横合計が5m以上を条件とした大凧です。寒空の下、各クラス空高く上がるよう奮闘していました。

優勝 2年5組 第2位 2年2組  
第3位 2年3組 天空の舞賞 2年5組



## <2月の主な行事予定>

1日（土）対外模試（1・2年） 県高校新人駅伝	14日（金）1年学年末試験時間割発表 修学旅行B団帰着
2日（日）対外模試（2年）	15日（土）校内オープン模試（3年）
5日（水）推薦入学者選抜	21日（金）1・2年学年末試験（～27日）
7日（金）2年学年末試験時間割発表	25日（火）国公立大学前期試験（～26日）
8日（土）土曜自学（1年） 校内オープン模試（3年）	28日（金）代休（2/29分） 土曜自学（1・2年）
9日（日）校内オープン模試（3年） 修学旅行A団出発	29日（土）大掃除・式場設営・卒業式予行 記念品贈呈式・同窓会入会式
10日（月）修学旅行B団出発	
13日（木）修学旅行A団帰着	

## 学年主任より

### 1学年主任 守 慶直

「2年生になる自覚をもつ」

北陽台1年生としての生活も残すところ2ヶ月となりました。ちょうど1年前の今頃は、高校入試に向けて努力していた時期だったと思います。4月に、北陽台合格がゴールではなく、次のステージに向けて努力しなければならないという話をしましたが、ここまで自分の自分を振り返ってみて、どうでしょうか。学習、部活動、学校行事など、精一杯頑張りましたか。

2・3月は授業も少なく、あっという間に過ぎてしまいます。4月になるともう2年生です。2年生になる心構えはできていますか。中堅学年として新1年生の手本となり、様々な場面で学校を支えなければなりません。そのためにも残り2ヶ月、改めなければならないところは改め、進級する準備をしていきましょう。

### 2学年主任 林 圭介

「修学旅行迫る」

早くも1月が終わりますね。修学旅行が間近に迫ってきました。楽しみな反面、不安もあると思います。各自がしっかりと自覚を持って、よい修学旅行にしてもらいたいと思います。そのためには、どういうことが必要となるでしょうか。

まず、最優先されるのが「安全」ということになるでしょう。全員が無事に帰ってくるのが何よりも大事です。その次は「時間」でしょうか。5分前行動を徹底し、集合時間などを守ることもありますが、私語をしてはいけない場面など、時間のけじめをつけることも大切です。3つ目には「充実」ということです。楽しむべきところでは大いに楽しんでください。学校交流や企業訪問では、積極的にコミュニケーションをとったり、質問をするなどしてみましょう。より理解や興味が深まると思います。ホームビジットでは、異文化を体験できます。日頃の自分の感覚や知識では判断できないことが多いでしょうが、肌身で感じること自体に価値があると思います。

保護者の方から多額の旅費を出していただき、授業の一環として出かける修学旅行です。感謝の気持ちを忘れずに、よいものとしていきましょう。

### 3学年主任 下村 かおり

最後の最後まで粘れ！

センター試験も終わりました。今度は2次試験に向けて始動です。2次試験との総合点で合格が決まるのですから、2次試験に課される科目に全力を注ぎ、1点でも多く獲得しましょう。1点が合否を左右することがあるのですから。

年末には、異動された先生方から激励のお言葉をいただき、また、先日のセンター試験壮行式の折には、最後にラグビー日本代表選手からのビデオレターが流れ、驚いた人も多かったのではないでしょうか。品川先生のご尽力により実現した企画でしたが、あのリーチ・マイケル選手が「北陽台39回生のみなさん・・・」と語りかけ、「自分の力を信じて頑張ってください」とエールを送ってくださるなど、普通では考えられません。また、日本代表前主将の廣瀬俊朗さんからも、「大変だと思いますが、その過程こそが素晴らしいですし、全力で頑張ってください」とのメッセージをいただきました。ご家族の方々も含めてたくさんの人々に支えられ、応援されている39回生。あとは自分の手で人生を切り開いていくのみです。

3月に全員が笑顔で卒業できるよう、あとひと踏ん張り頑張りましょう。私たち職員も最後まで付き合います。